

授業科目名	総合演習 E			授業形態	演習		授業科目区分	一般科目 (総合科目)	
担当教員名	金高 宏文・萬久 博敏・竹中 健太郎・中村 勇・長島 未央子・與谷 謙吾・幾留 沙智						補助担当者名		
単位数	2 単位			履修年次	2年次		受け入れ人数	120名程度	
授業の概要	本授業では、社会の一員として求められるジェネリックスキル（汎用的能力）を高めることを目標に、少人数のグループで身近な問題等を設定し、問題解決プロセス-情報収集・情報分析・課題発見・構想・表現の過程を理解、実践する。また、対課題基礎力、対人基礎力、対自己基礎力が高められるように、グループワーク等を行う授業を構成する。さらに、将来教員となった際に「総合的な学習」において生徒に対して授業を行う際の指導方法・内容の習得に資する効果も期待される。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
				授業期間				定期 試験	その他
	授業	テスト	レポート	発表					
	■認知的領域	・ 身近な問題等の基礎知識を身に付ける。 ・ 身近な社会問題等を考える視点を身に付ける。			○				35
	■情意的領域	身近な社会問題等について興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ること、情報を仲間と協力して探求することができる。	○						45
■技能的領域	・ 基礎的な課題解決のプロセスを実践することができる。 ・ 基礎的なビジュアル等のプレゼンテーションができる。 ・ 基礎的なグループワークやディスカッションができる。	○		○	○			20	
成績評価の基準	授業の取組みは、授業への積極的な準備や参加度、発表、プレゼンテーション、グループワークより総合的に評価し、60点以上で単位認定を行う(配点の詳細はオリエンテーション時に説明する)。								
テキスト、教材 参 考 書	テキストは、適宜資料を配付する（i-Padでの資料提示やプレゼン、情報収集をするので毎回持参すること）。参考図書として、「課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学習の基本と手法（鈴木敏恵著：教育出版、2012、2,300円+税）」を推薦する。								
履修条件・ 関連科目	プレゼンテーション・討論Ⅰ（後期・集中）			備考(教員メッセージ含む)		大学での学びを深めるために重要な科目である			
オフィス・アワー	全体総括：金高（火：15：00～16：00、大学院棟3階・教員室4）、各クラス：各授業教員で授業時に指示する。								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容					授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	〃	オリエンテーション：授業概要の説明とテーマ設定					発表テーマの構想		
2	〃	プレゼンの基本+テーマの確認					3分間プレゼンテーションの準備		
3	〃	チームプレゼン①：15分（3分発表+3分質疑+6分修正）×3人+プレゼン振り返り					3分間プレゼンテーションの準備		
4	〃	全体プレゼン①－1：6分（3分発表+3分質疑）×10人+プレゼン振り返り					ジェネリックスキル評価（Pre）		
5	〃	全体プレゼン①－2：6分（3分発表+3分質疑）×10人+プレゼン振り返り					授業の復習		
6	〃	テーマ設定の設定・確認					発表テーマの構想		
7	〃	チームプレゼン②：15分（3分発表+3分質疑+6分修正）×3人+プレゼン振り返り					3分間プレゼンテーションの準備		
8	〃	全体プレゼン②－1：6分（3分発表+3分質疑）×10人+プレゼン振り返り					3分間プレゼンテーションの準備		
9	〃	全体プレゼン②－2：6分（3分発表+3分質疑）×10人+プレゼン振り返り					授業の復習		
10	〃	テーマ設定の設定・確認					発表テーマの構想		
11	〃	グループでのプレゼン準備					5分間プレゼンテーションの準備		
12	〃	全体プレゼン③－1：8分（5分発表+3分質疑）×7人+プレゼン振り返り					5分間プレゼンテーションの準備		
13	〃	全体プレゼン③－2：8分（5分発表+3分質疑）×7人+プレゼン振り返り					5分間プレゼンテーションの準備		
14	〃	全体プレゼン③－3：8分（5分発表+3分質疑）×7人+プレゼン振り返り					ジェネリックスキル評価（Post）		
15	〃	授業の振り返りのグループディスカッションと授業評価					授業資料の整理		